

入札状況の常時監視
報告書
(令和4年度)

令和5年11月
名古屋市

目 次

はじめに	1
1 入札状況の常時監視の概要	
(1) 目的	2
(2) 対象	2
(3) 内容	2
(4) 公表	2
(5) 常時監視の流れ	3
(6) 監視体制	4
(7) 公正入札アドバイザー	4
(8) 会議開催実績	5
(9) 結果	5
2 入札状況の概要	
(1) 発注件数・落札金額	6
(2) 平均入札者数・平均落札率	6
(3) 特殊要因分析	
・ 入札不調の発生状況	7
・ 再入札工事	8
●参考（これまでの主な入札制度改善・用語の解説）	9

はじめに

これまで本市は、電子入札の導入、一般競争入札の拡大といった談合が行われにくい制度づくりや、談合が行われた際のペナルティ強化などに取り組んできました。しかし、平成18年以降、全国各地で公共工事を巡る談合事件が相次いで摘発された中で、本市の工事を舞台とした事件も起こりました。

これらの事件をきっかけとして、さらに「談合行為を見逃さない」という観点を新たに加え、本市が行うすべての工事に係る入札状況について点検するとともに、その情報を市民の皆様と共有することといたしました。その取り組みが、全国で初の試みとして平成19年4月からスタートした「入札状況の常時監視」です。

この報告書は、令和4年度における「入札状況の常時監視」の1年分の結果を取りまとめたものです。

今後とも、公正な入札の確保に向けて一層努力してまいります。

令和5年11月

1 入札状況の常時監視の概要

(1) 目的

- ・ 談合等不正行為の早期発見と抑止
- ・ 監視結果の公表による本市の入札、契約手続の透明性・公正性の向上

(2) 対象

令和4年度に契約を締結した工事の入札

(3) 内容

公正入札アドバイザーの指導・助言を得て、前月分の入札結果を分析し、入札に不自然な状況がないか監視

談合等が疑われるような場合には、本市公正入札調査委員会が、公正入札アドバイザーに指導・助言を求めながら調査を行い、調査結果を公正取引委員会及び愛知県警へ通報

ア 全件分析

すべての工事の入札について、業種ごとに入札者数、落札率等を取りまとめ

イ 詳細分析

業種・案件を絞り込み、入札状況を詳細に分析

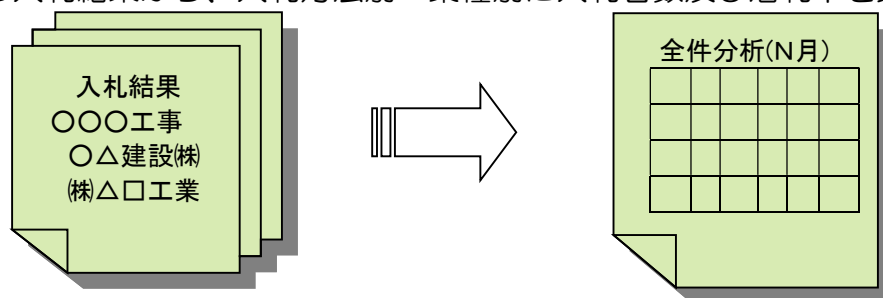
(4) 公表

全件分析結果については、毎月本市ウェブサイトで公表

(5) 常時監視の流れ

ア 入札結果の集計・・・入札月の翌月初旬

毎月の入札結果から、入札方法別・業種別に入札者数及び落札率を集計



イ 全件分析と詳細分析対象業種の絞り込み・・・入札月の翌月初旬

集計結果を基に業種ごとの傾向を踏まえ、詳細分析を行う業種を絞り込む。



ウ 詳細分析・・・入札月の翌月中旬～下旬

“イ”で絞り込みを行った業種について、工事内容や入札参加状況などを分析するとともに、必要に応じて複数月にわたる分析を実施



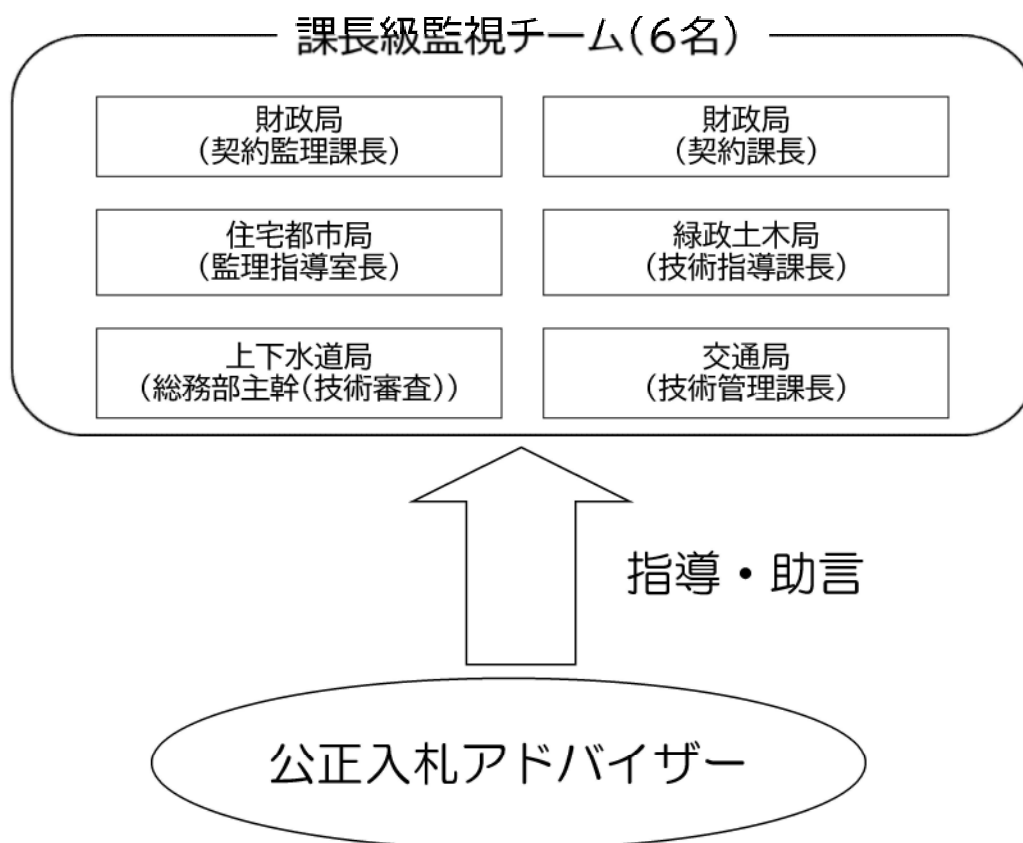
エ 公表・・・入札月の翌月下旬

全件分析結果について、本市ウェブサイトで公表



(6) 監視体制

財政局と各工事担当局の課長級職員により構成する専門の「監視チーム」が公正入札アドバイザーの指導・助言を得ながら入札状況を監視



(7) 公正入札アドバイザー

(令和5年11月現在)

氏名	職業
長谷川 鋤治	弁護士 (元名古屋地方検察庁検事)

(8) 会議開催実績

第 1 回	令和4年 5月26日
第 2 回	令和4年 6月16日
第 3 回	令和4年 7月20日
第 4 回	令和4年 8月29日
第 5 回	令和4年10月24日
第 6 回	令和4年11月29日
第 7 回	令和4年12月22日
第 8 回	令和5年 1月27日
第 9 回	令和5年 3月28日
第10回	令和5年 4月20日

(9) 結果

昨年行った入札手続きの改善をもとに、個別案件を抽出し、入札時に事業者が提出した総合評価落札方式における自己評価加算点申告表の内容について詳細分析を行いました。

また、業種別に入札者数や落札率の変化を比較し、個別案件について分析を行いました。

※詳細分析の抽出確認を行った業種別件数は、以下のとおりです。

一般土木・・・・・・・・7件	消防施設・・・・・・・・1件
下水道・・・・・・・・3件	電気・・・・・・・・3件
舗装・・・・・・・・1件	管・・・・・・・・3件
配水管布設・・・・・・・・10件	
建築・・・・・・・・3件	

合計 8業種 31件

2 入札状況の概要

令和 4 年度契約分の入札全件について、工事の業種ごとに入札者数・落札率等を取りまとめました。

(1) 発注件数・落札金額（※発注件数は入札不調を除く。以下同じ。）

- ・ 30 業種で合計 2,496 件の発注が行われ、このうち 1,921 件（約 77%）が一般競争入札により行われました。
- ・ 総落札金額（単価契約分を除く。以下同じ。）は約 1,290 億円、このうち約 1,275 億円（約 99%）が一般競争入札により行われました。
- ・ 発注件数は、一般土木（328 件）、管（253 件）、電気（249 件）、舗装（224 件）、配水管布設（188 件）の順で多く、この 5 業種で全体の約 5 割を占めました。
- ・ 総落札金額は、一般土木（約 181 億円）、下水道（約 177 億円）、建築（約 170 億円）、電気（約 136 億円）、管（約 115 億円）の順で多く、この 5 業種で全体の約 6 割を占めました。

（以上、資料 1－1、1－2）

(2) 平均入札者数・平均落札率

- ・ 一般競争入札の平均入札者数は 8.2 者、平均落札率は 91.8%、指名競争入札の平均入札者数は 4.0 者、平均落札率は 92.4%でした。
- ・ 入札全体では、前年度と比べて平均入札者数は 0.1 者多く、平均落札率は 0.9 ポイント高くなっています。
- ・ 平均入札者数は、前年度と同様に、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて多く、その差は前年度と同じでした。

（前年度 4.2 者 → 令和 4 年度 4.2 者）

- ・ 平均落札率は、前年度と同様に、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて低くなっており、その差は前年度よりも小さくなりました。

（前年度 1.1 ポイント → 令和 4 年度 0.6 ポイント）

- 一般競争入札と指名競争入札の両方で発注があった 21 業種のうち、一般競争入札の方が指名競争入札に比べ平均入札者数が少なかった業種は「特殊電気」「造園」「建具」の 3 業種でした。また、一般競争入札の方が指名競争入札に比べ平均落札率が高かった業種は、「一般土木」「道路標識設置」「特殊電気」「舗装」「水・汚泥処理設備」「造園」の 6 業種でした。

（以上、資料 1－1、1－2）

- 発注金額階層別（予定価格で算出。単価契約を除く。）の平均落札率を見ると、500 万円未満や 5 億円以上の発注金額階層別の工事においては、他の発注金額階層別工事の平均落札率に比べやや高い傾向が見られました。

（資料 2）

- 入札者数別で見ると、入札全体では前年度と同様に、入札者数が多くなるほど平均落札率が低くなる傾向が見られました。

（資料 3）

（3）入札不調・再入札工事

- 入札不調の発生状況

令和 4 年度は、第 2 四半期から第 3 四半期にかけて入札不調が増加しましたが、その後、年度末に向けて減少しました。前年度と比較して入札不調の発生率は低く、全体として 0.4 ポイント減少しました。

なお、本市では、入札参加資格の緩和、最新の単価による積算、発注時期の平準化など様々な手立てを講じて入札不調の防止に努めており、今後も引き続き、入札参加資格の緩和等の入札不調防止策を講じて参ります。

（資料 5）

- 再入札工事

当初発注時の入札において入札参加者が無かった等のため不調となった工事について、再発注後の入札者数と落札率を当初発注で入札が成立した工事と比較すると、平均入札者数は 3.8 者少なく、平均落札率は 2.2 ポイント高くなっています。

工事内容（場所が点在している、交通量が多い、時間的制約や特別な安全対策が必要等）などから当初発注入札が不調となった工事については、競争性が低くなる傾向が見られるため、再発注時に設計内容の見直しを行う等、競争性の向上に努めて参ります。

（資料 6）

●参考

(これまでの主な入札制度改善)

一般競争入札の拡大

本市では、競争性等の向上のため、一般競争入札を拡大してきました。

平成 8 年 4 月	予定価格 21 億 6,000 万円以上（政府調達協定適用（当時））の工事について一般競争入札を実施
平成 15 年 10 月	予定価格 6 億円以上の工事に拡大
平成 18 年 4 月	予定価格 5,000 万円以上の工事に拡大
平成 20 年 4 月	予定価格 1,000 万円以上の工事に拡大

予定価格の事前公表

本市では、透明性を向上させるため、次のように予定価格の事前公表の実施を拡大してきました。

平成 16 年 7 月	工事の全ての入札について実施
平成 18 年 4 月	測量・設計等の全ての入札について実施

電子入札の導入

本市では、競争性等の向上のため、電子入札の導入を進めてきました。

平成 16 年 7 月	調達情報サービスシステム（発注見通しや入札予定等をインターネットで提供するシステム）の運用開始
平成 16 年 11 月	入札参加者登録システム（競争入札参加申請をインターネットで受け付けるシステム）の運用開始
平成 17 年 9 月	電子入札システム（インターネットを利用して入札を実施するシステム）の運用開始
平成 18 年 6 月	全ての入札を対象に電子入札の実施

(用語の解説)

一般競争入札

入札参加資格要件を満たす事業者であれば入札に参加することが可能であり、競争性・公正性が高い入札方式ですが、指名競争入札に比べて入札手続に時間を必要とします。

指名競争入札

市が適正な能力がある事業者をあらかじめ選定して競争させる入札方式で、一般競争入札に比べて効率的に入札手続を進めることができます。

※本市における工事の指名者数は、原則として6者以上となります。

総価契約

総額を請負金額とする契約を指します。

単価契約

作業や資材の1単位あたりの単価で契約し、出来高に応じて代金を支払う契約を指します。

平均落札率

全件分析などに掲載されている平均落札率は、単純平均で示しています。また、本市では低価格入札への対応として、最低制限価格制度及び低入札価格調査制度を導入しており、一定の価格を下回る入札をした入札者は落札者となることができません。

(例) A業種3件の平均落札率の算出方法

※3件の落札率(注1)がそれぞれ70%、80%、90%だった場合。

※それぞれの予定価格及び落札金額の大小は考慮していません。

$$\frac{70+80+90}{3}$$

(注1) 落札率…予定価格(注2)に対する落札金額の割合(パーセント)のことです。

$$\text{落札率} = \frac{\text{落札金額}}{\text{予定価格}} \times 100 (\%)$$

(注2) 予定価格…契約を締結するにあたって材料費や労務費などを考慮して積算し設定する上限価格です。

全件の入札状況(令和4年度)

業種	件数	平均入札者数	平均落札率
一般土木	328	5.3	90.4%
下水道	184	12.2	90.3%
軌道	8	1.0	99.6%
水道	17	5.2	93.5%
配水管布設	188	13.4	89.5%
建築	170	3.1	94.0%
とび・土工・コンクリート	57	6.7	91.4%
道路標識設置	24	10.7	90.0%
解体	15	11.3	91.9%
電気	249	7.2	93.9%
屋外照明	86	13.9	92.1%
特殊電気	15	1.3	97.1%
受変電	37	4.8	94.9%
管	253	10.2	92.0%
鋼構造物	5	1.8	91.8%
舗装	224	8.9	88.8%
しゅんせつ	2	1.5	96.2%
塗装	45	7.2	86.9%
区画線設置	41	14.6	91.8%
防水	5	6.0	92.2%
内装仕上	1	1.0	99.7%
畳	1	8.0	91.9%
機械設備	185	1.7	96.0%
水・汚泥処理設備	90	2.3	94.8%
計装設備	44	1.2	96.4%
電気通信	36	3.8	94.8%
造園	164	3.5	91.2%
さく井	1	2.0	92.1%
建具	4	2.5	93.7%
消防施設	17	4.6	90.8%
合計	2,496	7.2	92.0%
前年度(合計)	2,395	7.1	91.1%

全件の入札状況(詳細)(令和4年度)

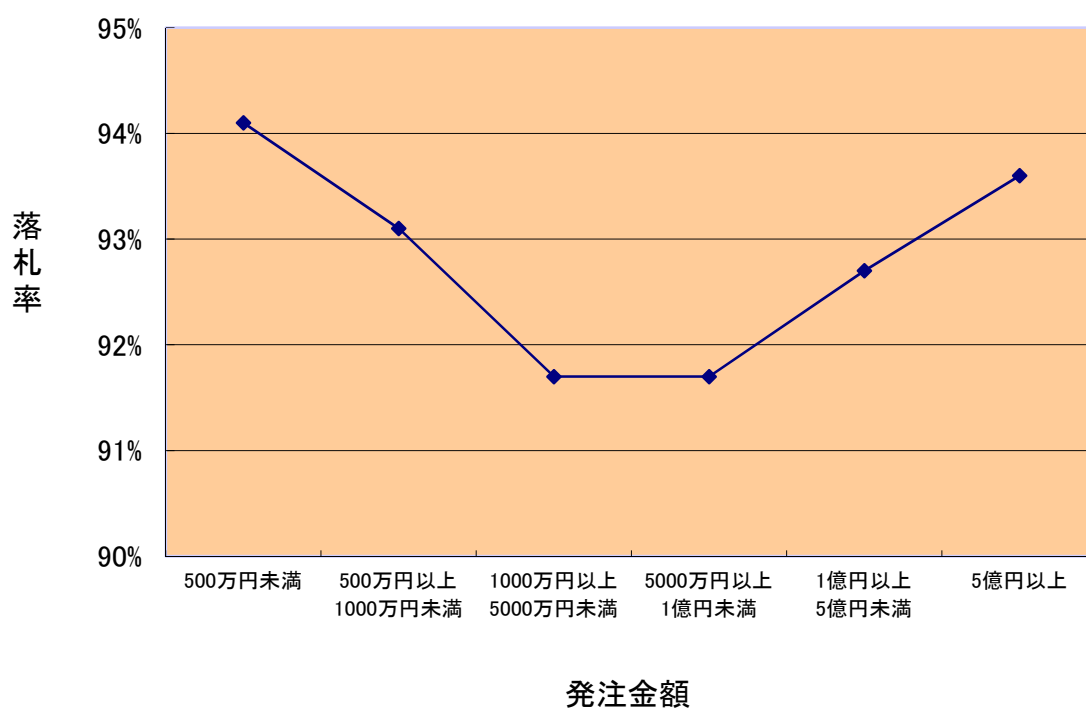
入札方式 業種	一般競争入札				指名競争入札				入札合計			
	件数 (件)	平均 入札者数 (者)	平均 落札率	落札金額総額 (千円) (税抜き)	件数 (件)	平均 入札者数 (者)	平均 落札率	落札金額総額 (千円) (税抜き)	件数 (件)	平均 入札者数 (者)	平均 落札率	落札金額総額 (千円) (税抜き)
一般土木	211	5.6	91.1%	18,012,231	117	4.9	89.2%	91,582	328	5.3	90.4%	18,103,813
下水道	180	10.8	90.3%	17,702,799	4	4.8	93.7%	16,802	184	12.2	90.3%	17,719,602
軌道	8	1.0	99.6%	388,392					8	1.0	99.6%	388,392
水道	15	5.7	93.0%	9,145,482	2	2.0	97.8%	26,340	17	5.2	93.5%	9,171,822
配水管布設	188	13.4	89.5%	8,720,217					188	13.4	89.5%	8,720,217
建築	147	3.3	93.9%	16,915,974	23	2.2	94.1%	124,587	170	3.1	94.0%	17,040,561
とび・土工・コンクリート	44	7.6	90.9%	1,541,768	13	3.5	93.1%	66,377	57	6.7	91.4%	1,608,145
道路標識設置	14	14.0	90.5%	214,821	10	6.0	89.4%	44,813	24	10.7	90.0%	259,634
解体	14	11.9	91.9%	730,795	1	3.0	91.9%	2,389	15	11.3	91.9%	733,184
電気	206	8.4	93.4%	13,312,531	43	1.7	96.4%	256,562	249	7.2	93.9%	13,569,094
屋外照明	39	20.5	91.4%	470,004	47	8.3	92.6%	32,069	86	13.9	92.1%	502,073
特殊電気	13	1.2	97.9%	525,092	2	2.0	91.4%	6,136	15	1.3	97.1%	531,228
受変電	27	6.1	93.0%	3,526,777	10	1.2	99.8%	46,399	37	4.8	94.9%	3,573,176
管	217	11.2	91.8%	11,487,174	36	3.7	93.6%	61,778	253	10.2	92.0%	11,548,952
鋼構造物	5	1.8	91.8%	434,899					5	1.8	91.8%	434,899
舗装	175	9.5	89.1%	5,512,266	49	6.7	87.7%	53,455	224	8.9	88.8%	5,565,720
しゅんせつ	2	1.5	96.2%	203,200					2	1.5	96.2%	203,200
塗装	45	7.2	86.9%	2,178,929					45	7.2	86.9%	2,178,929
区画線設置	28	17.8	91.4%	412,701	13	7.9	92.6%	77,223	41	14.6	91.8%	489,924
防水	5	6.0	92.2%	84,381					5	6.0	92.2%	84,381
内装仕上	1	2.0	99.7%	4,520					1	1.0	99.7%	4,520
畳					1	8.0	91.9%	2,316	1	8.0	91.9%	2,316
機械設備	114	1.9	95.7%	5,079,122	71	1.3	96.4%	301,284	185	1.7	96.0%	5,380,405
水・汚泥処理設備	51	2.5	95.2%	6,350,706	39	2.1	94.3%	212,054	90	2.3	94.8%	6,562,760
計装設備	22	1.3	95.1%	543,233	22	1.1	97.6%	95,096	44	1.2	96.4%	638,328
電気通信	29	4.3	94.5%	1,058,803	7	1.6	96.1%	24,593	36	3.8	94.8%	1,083,396
造園	104	3.0	92.7%	2,632,798	60	4.4	88.8%	20,889	164	3.5	91.2%	2,653,687
さく井	1	2.0	92.1%	6,580					1	2.0	92.1%	6,580
建具	1	2.0	90.1%	28,968	3	2.7	94.9%	17,006	4	2.5	93.7%	45,974
消防施設	15	4.9	90.8%	233,887	2	2.5	91.1%	2,142	17	4.6	90.8%	236,029
清掃施設												
合計	1,921	8.2	91.8%	127,459,050	575	4.0	92.4%	1,581,891	2,496	7.2	92.0%	129,040,941
前年度(合計)	1,811	8.1	90.9%	145,720,787	584	3.9	92.0%	1,669,338	2,395	7.1	91.1%	147,390,125

※落札金額は、単価契約(一般競争入札53件、指名競争入札256件)を除く。

発注金額階層別入札状況（令和4年度）

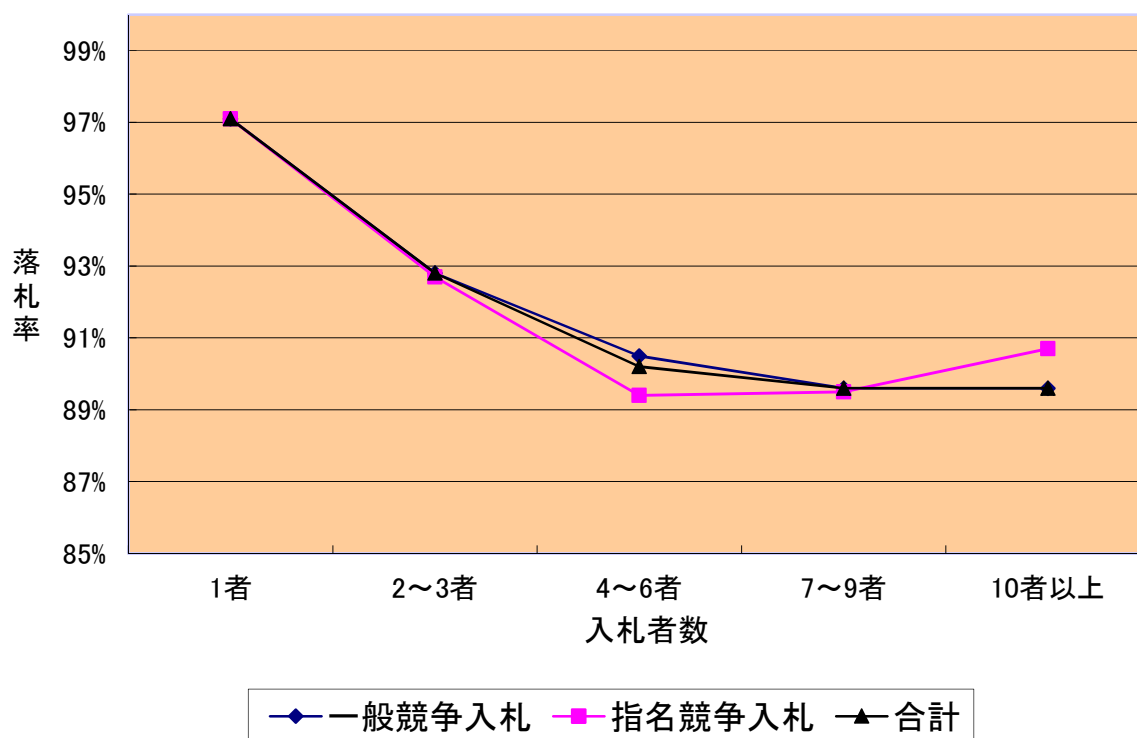
発注金額	落札金額総額(千円)	構成比	平均落札率	(参考)件数
5億円以上	33,269,648	25.8%	93.6%	34
1億円以上	46,458,288	36.0%	92.7%	242
5000万円以上	23,852,776	18.5%	91.7%	368
1000万円以上	22,312,235	17.3%	91.7%	959
500万円以上	2,461,812	1.9%	93.1%	353
500万円未満	686,182	0.5%	94.1%	231
合計	129,040,941	100%	91.5%	2,187

※単価契約を除く。発注金額、落札金額は税抜き。



入札者数別入札状況（令和4年度）

入札方式 入札者数	一般競争入札		指名競争入札		合計	
	件数(件)	平均落札率	件数(件)	平均落札率	件数(件)	平均落札率
1者	381	97.1%	162	97.1%	543	97.1%
2～3者	353	92.8%	139	92.7%	492	92.8%
4～6者	331	90.5%	137	89.4%	468	90.2%
7～9者	212	89.6%	125	89.5%	337	89.6%
10者以上	644	89.6%	12	90.7%	656	89.6%
合計	1,921	91.8%	575	92.4%	2,496	92.0%



機械・電気設備工事(令和4年度)

区分 業種	既設工事			新設工事		
	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率
電気	216	7.4	94.1%	33	5.8	93.2%
特殊電気	15	1.3	97.1%	—	—	—
受変電	35	4.4	95.1%	2	12.5	90.5%
機械設備	170	1.6	96.3%	15	2.9	92.4%
水・汚泥処理設備	86	2.4	94.8%	4	2.0	95.1%
計装設備	41	1.2	96.3%	3	1.3	97.3%
電気通信	33	3.5	94.6%	3	6.3	96.9%
消防施設	17	4.6	90.8%	—	—	—
合計	613	4.1	95.0%	60	4.9	93.4%

入札不調の発生状況(令和4年度)

区 分	総入札件数 (件)	入札不調件数 (件)	入札不調発生率
第1四半期 (4月～6月)	732 (737)	44 (38)	6.0% (5.2%)
第2四半期 (7月～9月)	1,012 (917)	81 (72)	8.0% (7.9%)
第3四半期 (10月～12月)	619 (632)	64 (77)	10.3% (12.2%)
第4四半期 (1月～3月)	342 (321)	20 (25)	5.8% (7.8%)
合 計	2,705 (2,607)	209 (212)	7.7% (8.1%)

※1 入札不調とは、入札参加者が無かったもの及び入札参加者はあったが落札者が無かったものをいう。

※2 総入札件数には、入札不調件数を含む。

※3 括弧内は前年度実績を掲載。

再入札工事分析(令和4年度)

区分 業種	再入札工事			当初発注で入札が成立した工事		
	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率
一般土木	7	4.9	92.4%	321	5.3	90.4%
下水道	1	2.0	91.3%	183	12.2	90.3%
建築	14	3.5	94.8%	156	3.1	93.9%
とび・土工・コンクリート	2	4.0	89.8%	55	6.8	91.5%
解体	1	8.0	92.0%	14	11.6	91.9%
電気	11	1.3	97.8%	238	7.5	93.8%
屋外照明	1	2.0	95.1%	85	14.0	92.0%
管	6	2.3	95.3%	246	10.4	91.9%
舗装	8	6.0	90.8%	216	9.0	88.8%
内装仕上	2	4.5	95.8%			
機械設備	6	1.7	92.3%	179	1.7	96.1%
水・汚泥処理設備	1	4.0	91.9%	89	2.3	94.8%
計装設備	4	1.3	95.7%	40	1.2	96.4%
造園	16	2.4	95.2%	148	3.6	90.8%
消防施設	1	4.0	91.7%	16	4.6	90.8%
合 計	81	3.0	94.3%	1,986	6.8	92.1%

※1 再入札工事とは、当初発注で入札不調となった工事を再発注し、入札が成立したものをいう。

※2 再入札工事がなかった業種(15業種、429件)を除く。